

四季の路から

地域福祉推進委員会 HP <http://morinosato-tiikifukushi.com/>



地域福祉だより
(通巻140号)
令和3年3月31日発行
森の里地区
地域福祉推進委員会

ふれあい部会

「森小ふれあい喫茶」コーディネーターとして 森っ子学びねっと ****

森っ子が楽しみにしている「森小ふれあい喫茶の授業」は今年で15年を迎えます。私の役割は、年度始めに先生方と話し合い授業内容を決定、地域の方に講師をお願いするわけですが、どのような授業にするか、地域として何をお手伝いできるか考えます。先生や児童に有益で、地域の皆が楽しく継続できることも大切。新しい内容の授業を始める時は事前の打ち合わせを綿密に行ってきました。

3年前から始まった6年生「森の里まちづくりの軌跡」は児童だけでなく先生や保護者にも大好評です。森の里が造られていく様子を写真と共に学びますが、まるで何十年も前にタイムスリップしたかのような気持ちになります。それは、当時をよく知る地域の方が講師を務めるからでしょう。この授業は、森の里で育っていることを誇りに感じ、森の里を“ふるさと”として愛するきっかけになるのでは、と思います。また、今年度は5年生も、職業をテーマに新しい授業が加わりました。教科書では学べない、人生の先輩が語る言葉は、子どもたちの興味に繋がったでしょうか。

さて、授業の合間のドリンクタイムは交流の時間です。飲み物を共に楽しむことで講師を身近に感じられ、気軽に質問する児童の姿も。今年度、手作りジュースなどは見送り、ドリンクタイムをゆっくり過ごすことはできませんでしたが、近い将来“ひと手間かけた美味しさ”を楽しむ日が来ると信じています。

森小ふれあい喫茶を通して、講師、ボランティアの皆さまが、授業に関わることを生きがいに感じていただければ幸いです。そして、この授業を経験した森っ子たちが大人になった時に「面白い授業だったな」「楽しい時間だったな」と、思い出してもらえたら何より嬉しく思います。

今年度もふれあい喫茶の授業を安心して行えるようにご配慮いただいた森の里小学校の先生方に心より感謝いたします。また、いつも支えてくださる地域の皆さまにもこの場をお借りして御礼と感謝を申し上げます。

「森小ふれあい喫茶の授業」を地域の宝として長く続けられたら幸せです！



(1年生)



(3年前にタイムスリップ 6年生)



(2年生)



(3年生)



(4年生)



(5年生)

ささえあい部会

～コロナ禍でつながる喜び「安心コール」～

森の里地区地域福祉推進委員会では、コロナ禍でも変わりなく安否確認「安心コール」を続けてきました。

「安心コール」とは、森の里地区にお住いの70歳以上の一人暮らしの方、または70歳以上の方が暮す世帯を対象として、お申込みいただいた方に週に1回、決まった時間に電話で「お元気ですか？」と声掛けをするものです。不在の場合は一定時間をおいて何度か繰り返し電話をします。それでも連絡がつかない場合は、緊急連絡先に連絡するか、担当民生委員、玉川・森の里地域包括支援センターや森の里市民センター（公民館）に連絡し、ご自宅を訪問します。

現在、5人のコール担当者が曜日別で活動していますが、年に2回公民館に集まって、報告会と利用者さんに送る「暑中お見舞い」や「クリスマスカード」の作成をし、カードはコール担当者が利用者さんに直接手渡ししています。

コロナ禍において安心コールは、最も安心な安否確認だと実感しています。今年度は地域福祉推進委員会の事業をほとんど中止、外出も制限されてきました。利用者さん達は電話を心待ちにしてくれていて、いつもは1～2分の安否確認なのにしゃべり出来てうれしいと喜んでくださり、なかなか電話を切るタイミングが難しく、長電話になってしまいます。また、毎週電話が架かることはとても心強い、と感謝の声が聞こえてきます。今後も更に高齢化が進む中、ますます増える一人暮らしの方、『一人でも多くの人に我々の声が届きますように』と、コール担当者は目を輝かせて話してくれました。





お誕生おめでとうございます！

令和2年4月に***さん（*丁目）、10月に***さん（*丁目）が誕生されて森の里の一員になりました。森の里地区地域福祉推進委員会ではお子様の誕生をお祝いし、森の里で楽しく子育てしていただくことを願って、お祝いキットをプレゼントしています。該当される方（1歳未満の赤ちゃんの保護者で森の里在住の方）はぜひ公民館へお申し出ください。 問い合わせ・・・森の里公民館 ☎ 046-250-5262

「コロナ禍での梅見会」

すでに、「四季の路から」や「森の里公民館だより」でお伝えしてきましたが、本来、若宮公園梅園にて梅の花を愛でながら香りを楽しむ梅見会となるべきところですが、コロナ禍で公民館の文化作品展に併せて梅見会コーナーを設け、短歌や俳句の応募作品の展示という形式で梅見会を開催しました。期間は三月二十二日（月）から二十八日（日）で、文化作品展の鑑賞に来られた方々に「お気に入り」の作品を投票していただきました。その結果につきましては、四月になってからの「公民館だより」の紙面にて発表させていただきます。ご了承ください。

また、応募作品として俳句は28句、短歌は13首が集まりました。ここで、作者名を伏せてご紹介します。



(前回の梅見会風景)

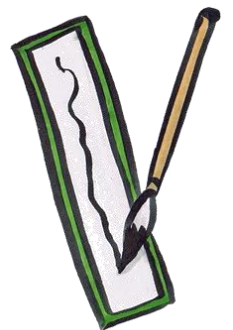


◆ 俳句の部 ◆

- 1 三密さけ 眼下のいやし 三の塔
- 2 検査陰性 いこいの宴 大みそか
- 3 楽しみは 梅花の下で 一献を
- 4 梅見頃 孫の受験に 頼ぬらし
- 5 子らに独楽 一喜一憂の マスク顔
- 6 ふゆ寺や 賑わう子らに せんぶうき
- 7 梅ひらく 一樹に憩い 広がりに
- 8 そつだねと 返すひとこと 春つらら
- 9 嗅覚の 衰え止める ロウバイ香
- 10 窓をあけ ごきげんよろし 梅の花
- 11 朝焼けに りんと立ちおり 水仙花
- 12 年賀出し ちよいと寄りて 一服す
- 13 退屈し 癒す上つ枝に 梅探す
- 14 思う儘 足湯に憩う 冬小立
- 15 窓避けて 癒し届ける 梅香かな
- 16 あら！ここに ロウバイの黄や 四季の路
- 17 梅見会 梅の香りに 汁恋しや
- 18 梅見会 三密に咲く 梅の花
- 19 梅林に 立寄り憩う 若きママ
- 20 友誘ふ 小鳥も憩ふ 梅見会
- 21 心くよかな 香りをまこつ 白い梅

◆ 短歌の部 ◆

- 22 青空に 映える紅梅 ほのぼのと
- 23 マスクとり 梅香頂く 憩かな
- 24 ゆれる世の 癒しの一時 梅の花
- 25 ミツバチくん 花はむこつだ これは余が鼻
- 26 春浅し 孫に負われて 梅まつり
- 27 寒空に 負けじと咲くや 梅一輪
- 28 白梅の 花びら風に 雪と舞つ



- ア 新春に 願うわれらの 日常を 癒しの時よ 再びここに
- イ 春近し 梅を見んとて 来し我は 紅と白とに いやしを見たり
- ウ 鶯の 姿さがしつ 歩を進め 入り残りたる 月に憩えり
- エ 宗次郎の オカルナ透る 喫茶店 しずかなる風 ひとりの時を
- オ 胃切除を 明日に控えし 夫と居る 新緑の丘 鳥の囁り
- カ 心ない 奴追い拂い 安らごう 居留守使えよ 家に入れるな
- キ 短歌の中に隠れている奴とは？ (ヒント) カタカナ
- ク 吊るします 梅の小枝に 短冊を 花に憩えば やさしく香る
- ク 春風に 密にて憩う そんな日を 夢みて今は ひとり歩みぬ
- ケ 大山を 眺めて歩む 橋のうえ 疲れしころ しばし癒しつ
- コ コロナ禍で ひきこもりがち 気ばらしに 梅園で聞く ホーホケキョ
- サ 大寒の 茜の空に 眉の月 月映える夕暮 憩う窓辺
- シ 小春日に 寝そべれば癒す はてしなき 空の紺碧 陽春の耀き
- ス 一人来て 見上げる紅き 梅の花 枝ゆく鳥に 携帯むける